

科目名	情報産業論
英文名	Information Industry Theory
担当教員 (先頭者が主担当)	神戸 英利
配当学年	1年
単位数	2.00単位
開講年度・学期	2022年度後期
曜日時限	木曜4限
授業形態	講義
学位授与方針 (DP)	情報学専攻DP1
授業コード	2200913001

目的概要	<p>本講義は、情報系の産業・企業研究を学習し、それらを院生の学業・研究力と関連させて自己PRとして主張しうる方策を学び、就職活動に関する能力（以下、就活）を身につけることを狙いとする。本講義ではそれを「就活力」と呼ぶ。すなわち、情報系の産業と関連企業を学習、理解し、それらを学生が自身の学業または人間力と関連させて、自己PRとして主張しうる方策を学ぶ。これらによって、学生が就活に臨むにあたり、企業選択力、主張力、面接力を総合した就活力を高める一助とすることを目的とする。本講義で対象とする産業および企業区分は、次項である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア産業・情報処理産業 ・コンテンツ/ゲームソフト産業 ・情報通信 ・クラウド関連産業 ・組込みシステム関連産業 ・その他の諸産業（エネルギー、交通、印刷、サービス、アメニティ、デザイン） <p>本講義で対象とする「就活力」は次項を主としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①企業選択力 ②やりたい仕事を見つけ出す能力 ③自己分析力によって学業、自分の特性に関する自己PR要素を抽出し、それを主張しうる能力 ④「志望動機」「やりたい仕事」「自己PR」の論理的な一貫性を主張しうる能力 ⑤コミュニケーション力：初対面の人と会話ができ自分の考えを述べる力 ⑥適切なエントリーシートを作成しうる能力 ⑦面接力 ⑧将来を語る能力：イ、入社後の10年後の自分の姿を語る ロ、ITの将来、夢を語る <p>【実践的教育科目】 上記項目につき、企業における実践経験と採用人事経験を踏まえ、実践的な講義を行う。</p>
学習・教育目標（到達目標）	<ol style="list-style-type: none"> 1、各分野の産業界の特徴や情報学との関係を分析学習することにより、実際の就活に必要な「就活力」を学習し、それを身につけて効果的な就活ができる。 2、就活に関する不安要素を減少させることができる。 3、自信を持った就活の行動が可能になる段階に至ることができる。 <p>以上を目標とする。</p>
テーマ・学習内容（準備学習内容）	
<第1回>	<p><本講義の概要説明（オリエンテーション）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本講義の概要：狙い、目標、進め方、講義の内容 ・就活力とはなにか ・授業開始段階でのアンケート（授業内容に関する感想、要望など） <p>*各授業ごとに、原則として、授業後半の短時間で、当日授業のキーワードに関する所見・感想等を作成・提出してもらい、受講生とのコミュニケーションの一環とする。</p>
第1回 事前・事後学習	<p>【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等十分に予習をしてください。</p> <p>【事後学習】（60~100分） 講義内容について、十分に復習してください。</p>
<第2回>	<p><日本の産業構造と情報産業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の産業構造、日本の情報産業、世界の情報産業 ・日本の産業に影響を与えるいくつかの課題
第2回 事前・事後学習	<p>【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等十分に予習をしてください。</p> <p>【事後学習】（60~100分） 講義内容について、十分に復習してください。</p>

<第3回>	<技術者の仕事> ・ 企業の組織 ・ 技術者共通な仕事 ・ SE、プログラマ、コンテンツ・ゲームソフト、情報関連デザインの仕事
第3回 事前・事後学習	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。
<第4回>	<産業・企業研究-1:ソフトウェア産業> ・ ソフトウェア産業の特質 ・ 技術者の仕事：SEとソフトウェア技術者の相違、先輩達の仕事 ・ 企業研究
第4回 事前・事後学習	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。
<第5回>	<産業・企業研究-2:情報処理産業> ・ 情報処理産業の特質 ・ SEの仕事 ・ 企業研究
第5回 事前・事後学習	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。
<第6回>	<産業・企業研究-3:情報通信関連産業、クラウド関連産業> ・ 情報通信関連産業の概要と特質 ・ クラウドとはなにか、その産業と技術者の仕事 ・ 企業研究
第6回 事前・事後学習	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。
<第7回>	<産業・企業研究-4:組込みシステム> ・ 組込み系産業の概要と特質 ・ 組込み系企業の仕事 ・ 企業研究
第7回 事前・事後学習	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。
<第8回>	<産業・企業研究-5:コンテンツ・ゲームソフト> ・ コンテンツ・ゲームソフト産業の概要と特質 ・ ゲームソフト会社への採用レベルの検討と意見交換 ・ 企業研究
第8回 事前・事後学習	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。
<第9回>	<産業・企業研究-6:諸産業> ・ エネルギー、環境、交通、流通産業の概要と特質 ・ 印刷、デザイン関連 ・ 企業研究
第9回 事前・事後学習	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。
<第10回>	<就活力充実策-1:就活力をいかに高めるか> ・ 自己分析と自己PR:「志望動機」「やりたい仕事」「自己PR」との論理的な一貫性 ・ 学生時代に力を入れたことの説明:なぜそれが重要なのか ・ コミュニケーション力 ***中間レポート課題***
第10回 事前・事後学習	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。

<第11回>	<就活力充実策-2：企業選択力、エントリーシート作成力、面接力> ・企業選択力 ・「不安減少」から「自信」プロセスへの進行プロセス ・エントリーシート作成基本事項の練習、面接に関する基本事項の練習
第11回 事前・事後学習	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。
<第12回>	<就活力充実策-3：グループディスカッション1> ・予定テーマ：自己分析と自己PR（学業面） ・グループディスカッション ・グループ発表、個人別レポート作成、具体的な内容は事前に予告
第12回 事前・事後学習	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。
<第13回>	<先輩の話> ・予定：三菱電機 相川昭仁氏 ・「情報産業の現状と学生への期待」（仮題） （講師の仕事の都合で他週の授業と入れ替えになる可能性あり） *** 期末レポート課題 ***
第13回 事前・事後学習	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。
<第14回>	<就活力充実策-4：グループディスカッション2> ・予定テーマ：「志望動機」「やりたい仕事」「自己PR」の論理的ー貫性 ・グループディスカッション ・グループ発表、各自の小レポート作成 * 具体的内容は事前に予告
第14回 事前・事後学習	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。
<備考>	特になし
JABEE	
履修条件	基本的に、修士1年生で受講すること。 受講中、受講後の就活に直結させている関係で、M0では早すぎ、M2では遅すぎるため。
関連科目	特になし
教科書名	使用しない 資料は https://lms.rd.dendai.ac.jp/course/view.php?id=194#section-1 参照
参考書名	適宜、紹介する
評価方法	期末レポート：中間レポート：出席状況＝4：3：3 * 出席状況は、講義時実施の小演習の内容、Q&A等における意欲・アクティビティにより採点する
学習保証時間	【事前学習】（60~100分） 講義で指示する範囲等について、事前調査等充分に予習をしてください。 【事後学習】（60~100分） 講義内容について、充分に復習してください。
履修上の注意事項 (クラス分け情報)	特になし
学習上の助言	講義後就活と直結する修士1年での受講を推奨する。
自由記載欄	【アクティブラーニング】 グループディスカッション 【ICTの活用】 PC WebClass
E-Mail address	kambe@mail.dendai.ac.jp

質問への対応（オフィスアワー等）	<ol style="list-style-type: none">1. 小演習シートのQ&A欄を利用する。2. メールによる質問を受ける。3. 講義内、講義後の質問歓迎4. 面談希望者は、小演習シート、講義後、またはメールにより希望を出すこと。 オフィスアワー：月曜日 1時限 神戸英利<2号館2416>
------------------	--